



健康テラス



長崎北徳洲会病院
鬼塚 正成 先生

くも膜下出血について



くも膜下出血を語る上で私にとって忘れえぬ患者と言えば私の父です。医師になって3年目、父が突然の激しい頭痛がして嘔吐していると母から電話がありました。CTが撮れる病院をすぐに受診するよう母に伝えた1時間後に先輩の脳外科医から電話があり、「くも膜下出血だった、しかもタクシーを降りてから歩いて病院まで来られたよ。」しまった、まさかタクシーで病院に行くとは思っていませんでした。「ご近所に心配をかけるし、商売もしているから店主が倒れたとなると良くないとお父さんが言うもんだから。」こういう時こそ、救急車を呼ぶべきなんだと母に説教しても始まりません。幸い父は2か月後に社会復帰しました。当時は開頭クリッピング術しかありませんでしたが、現在は開頭せずにカ

テーテルを使って^{こぶ}脳内にコイルを詰める治療が主流です。脳血管障害はある日突然症状が出現します。まさかと思っても突然の嘔吐を伴う今まで経験したことのない頭痛が出た時は、くも膜下出血を疑って救急車を呼んでください。心配な方は脳ドックを受けてみられてはどうでしょうか。仮に瘤が発見されたとしてもすぐに手術を受ける訳ではありません。直径5mm未満の瘤が見つかることが多く、定期的に脳外科外来でMRIを撮影して経過をみていきます。当然、血圧の管理、ストレスを溜めない、便秘の管理が重要になります。脳血管障害の中で唯一、事前に検査して予防できるのはくも膜下出血です。

ふくし通信

12月3日から12月9日は「障害者週間」です。

毎年12月3日から9日までの1週間を「障害者週間」と定めています。

国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。

障害者週間の行事として、「第22回長崎県障害者芸術祭」が南島原市にて開催されます。

- 問 長崎県障害者社会参加推進センター ☎ 842-8178
- 時 12月4日①13時～16時
- 所 ありえコレジヨホール
- 内 ステージでの演目、合唱（障害のある人・ない人の競演の共演）、作品展
- 料 無料
- 申 要事前予約
申込み方法については、長崎県障害者社会参加推進センターのホームページにてご確認ください。
- ☑ 11月25日金

